

児童クラブだより
第 94 号

2019年3月15日



特集!

上級生の存在!!

4月。児童クラブでの生活が始まった1年生たちは、慣れない環境の中で、自分よりも背が高く、大きな“せんぱい”に初めて出会います。児童クラブは異年齢の子どもたちが一緒に生活をともにする場所です。

今号では、各児童クラブの1年生と2年生にアンケートをとり、上級生はどのような存在かを質問しました。初めて出会った頃感じた上級生の姿と、いま自分が感じている上級生の姿、そのどちらも尋ねることで気持ちの変化を調べました。アンケートから見てくる上級生の存在は、どのようなものだったのでしょうか。



「上級生ってどんな人!?!」

1・2年生にアンケート

はじめて会った
ときと今の違いを
聞きました



1位 やさしいと思う

【はじめ 568 票 → いま 506 票】

～理由～

- ・分からないことを教えてくれるから
- ・一緒に遊んでくれるから
- ・困っているときに助けてくれたから
- ・ほめてくれたから

「やさしいと思う」が圧倒的な得票数で1位でした。アンケートによると、1・2年生は“はじめ”の頃に上級生からクラブのルールやおもしろい遊びをたくさん教えてもらったようです。今では児童クラブの生活にも慣れ、自分でできることが増えました。その結果、上級生に教えてもらう機会が少し減ったようで、そのことが票が減ったことにつながったようです。“いま”のアンケートでは「困っていたときに助けてくれた」との声は多くなっていました。

2位 さわがしいと思う

【はじめ 458 票 → いま 380 票】

～理由～

- ・体が大きいから / 声大きいから
- ・大勢いるから / ずっと話をしているから
- ・上級生は仲良しすぎるから

“はじめ”の頃は小学生のパワーに圧倒されたようです。ドッジボールや鬼ごっこなどの体を使った遊びも保育園・幼稚園時代よりもパワフルとなりました。1・2年生は児童クラブで上級生と一緒に遊ぶようになり、次第に体力をつけ、たくましく成長していき、今では上級生に圧倒されることは減ってきたようです。エネルギーいっぱいの上級生に慣れてきたのでしょう。

3位 おもしろいと思う

【はじめ 363 票 → いま 349 票】

～理由～

- ・変な話をしてくるから / ふざけているから
- ・気が合うから / すぐに笑わせてくるから
- ・おもしろい遊びを教えてくれるから

児童クラブの生活の中で、上級生から今まで遊んだことがなかった遊びや聞いたことがなかった話を教えてもらいます。その結果、1・2年生の生活・遊び・話の世界は一気に広がっていきます。上級生の多くは、下級生のことを気かけ、遊びに誘ったり、話しかけたりとコミュニケーションをとっているようです。

4位 真似をしたいと思う

【はじめ 329 票 → いま 300 票】

～理由～

- ・みんなをまとめるリーダーだから
- ・けん玉やコマが上手だから

アンケートによると、1・2年生にとって上級生の存在とは、「一緒に遊んだり、気軽に話しかけたりできる存在」でありながら、「目標や憧れ、頼りにできる存在」でもあるようです。上級生のように「けん玉やコマが上手になりたい」「いつか自分がリーダーとしてみんなをまとめたい」と憧れの目で上級生を見ているようです。

5位 こわいと思う

【はじめ 292 票 → いま 258 票】

～理由～

- ・声大きいから / 言葉がこわいから
- ・注意をされるから / 背が高いから

“はじめ”の頃は自分よりも背が高くて体が大きく、また、声大きい上級生の姿に1・2年生は威圧感・緊張感を覚える存在だったようです。それが児童クラブの生活の中で、上級生と一緒に遊ぶようになり、気軽に話すことができる存在へと変わると、次第にこわいとは思わなくなるようです。

【1・2年生に聞く】

自分だったら、どんな上級生になりたい?

優しい	651票	おもしろい	285票
素敵	336票	さわがしい	45票
真似をされたい	300票	こわい	38票

アンケートの結果から1・2年生の多くは、上級生の存在は身近で気軽な存在であることが分かりました。

知識・体力・体格等の面で1・2年生の自分と大きな差がある上級生は、児童クラブという異年齢集団の中では、すぐそばにいる先輩であり、お手本となる存在ではあるものの、時にはその差をこわいと感じることもあります。しかし、児童クラブでともに生活をする中で時間や感情を共有し、上級生と下級生という関係に新たに“仲間”という関係が築かれます。児童クラブでは横だけでなく縦の仲間もできるのです。

通常授業

時間

土曜日・学校休業日

児童クラブの生活

健康に楽しく毎日を送れるよう、生活リズムを整え、子どもたちが1日の見通しを持って過ごせるように心がけています

短縮授業時は10:30に開所します



おやつ 子どもたちが楽しみにしているおやつの時間。帰ってきてすぐに、「今日のおやつはなに?」と興味深々です。

※1日の生活はクラブによって多少異なる場合があります

クラブ開所

自由活動

おやつ

自由活動

帰宅準備

延長指導
(登録児童)

クラブ閉所

8:00

クラブ開所

9:00

学習時間

10:00

自由活動

12:00

昼食

12:30

13:00

14:00

自由活動

15:00

おやつ

16:00

自由活動

17:00

帰宅準備

18:00

延長指導
(登録児童)

19:00

クラブ閉所



自由活動 けん玉、コマ等の伝承遊びや、一輪車、なわとび、鬼ごっこ、工作、ブロック等、室内や外で好きな遊びをします。時には集団で遊びます。校庭や公園で遊ぶこともあります。



みらぞう君が児童クラブにやってきました! ④

～「ただいま! おかえり!!」の巻～

～第2竹の子児童クラブ(八松小学校区)～

レッツゴー!



今回みらぞうが訪れたのは八松小学校区にある「第2竹の子児童クラブ」。お昼過ぎ、学校から帰って来る子どもたちの元気な「ただいまー!」の声が聞こえてきました。指導員は子どもたち一人一人に「おかえり!!」と声をかけ、クラブ室に迎え入れていました。



「ただいまー!」「おかえり!!」



帰ってきたら、自分のロッカーにランドセルや荷物を入れます

みらぞうがお友だちに話をきくと「『おかえり』って言われると、嬉しい気持ちになるよ」と教えてくれました。指導員は「『1日頑張ってきたね!おつかれさま。クラブでほっとしてね』という思いを込めて『おかえり』を伝えているよ」と、みらぞうに教えてくれました。帰ってきていつもと様子が違うお友だちに「何かあったの?」と指導員が声をかける場面もありました。

子どもたちが帰ってきて、ほっとできる場所には「ただいま!!」「おかえり!!」の挨拶があるんだな、とみらぞうは温かい気持ちになりました。



大好きな上級生のお兄さんと一緒にくつろいでいるよ!



お迎えだね。「また明日、会おうね」

みらぞう君、次はどこクラブに!? お楽しみに♪

「節目」の季節



春は年度の終わりと始まりがある「節目」の季節です。児童クラブではこの節目を大切に取り組みや活動を行っています。

4月には新1年生を新たな仲間を迎える「新入生歓迎会」が行われます。上級生によるゲームやクイズ、日頃の遊びで練習してきたけん玉やこまの技の発表、児童クラブでの過ごし方の紙芝居の披露等、1年生が児童クラブで楽しく過ごせるようにという思いをこめて、各クラブで特色ある会を開催しています。3月は仲間との別れの時。異年齢で過ごす児童クラブでは、特に中心となり関わってくれた上級生との別れは大事な節目となります。仲間との楽しい思い出が残るように、遠足やお別れ会等が実施されています。

児童クラブでは子どもたちが嬉しい日も悔しい日も、笑って泣いてけんかして、でもまた笑って…を繰り返しながら仲間と共に1年間育ちあいます。だからこそ、出会いと別れがある節目をみんなで共有し、大切に過ごしていきます。

職員の研修「研究集会」が開催されました。

2月22日(金)に児童クラブの常勤職員が一堂に会し、研究集会が開催されました。研究集会は職員の担当エリアや経験年数などを超えて話し合う中で、児童指導への共通理解や資質向上を図ることを目的に年に1回行われています。当日は1日を通じ児童指導についての研究発表や、ディスカッションが行われました。このような機会を活かし、職員間で高め合い、より良い児童クラブ運営をめざしていきます。



活発な意見が交わされました！

編 集 後 記

年4回発行している「またあした」ですが、今年度は今号が最後となります。日々、子育てに奮闘する保護者のみなさんに「児童クラブがあって良かった」とほっとできるような内容を心がけ担当一同紙面作成に取り組んで参りました。今後も「またあした」は児童クラブの子どもたちの育ちをお届けしていきます。

またあした編集担当 はばたき児童クラブ：十鳥
麦の子児童クラブ：上村 なかさと児童クラブ：中村



公益財団法人

藤沢市みらい創造財団

〒251-0054

藤沢市朝日町 10-8 藤沢青少年会館内

放課後児童育成課

TEL 0466-21-6709

FAX 0466-28-0009

URL <https://www.f-mirai.jp>

E-mail jidouclub@f-mirai.jp

